

3年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせや、読書が好きで、内容を読み取ることに意欲がある。 ・発表するときは、聞き手に伝わるよう、声の大きさや話し方を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度で内容を全て理解したり、話の要点を聞き取ったりすること。 ◎相手に伝わりやすいように、文章を筋道立てて書くこと。 ・漢字の読み書きは個人差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書くときは、「初め」「中」「終わり」の構成を意識させる。また、接続語の使い方の事例を挙げながら自分の考えや調べたことを書けるようにさせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算九九の習得が概ねできている。 ・課題に対して意欲的に取り組む児童が多い。 ・問題を絵や図で表して、理解し、課題解決の見通しをもてる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な四則計算のミスがあっても、見直しをせず気付かないこと。 ◎演算決定をするときの根拠や解決したことを分かりやすく伝えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容を含め、キーワードを見付けたり、図をかいたりして説明できるように、文章問題を扱う時の課題として取り上げていく。全体場で説明する前に、少人数で説明し合う時間をつくる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・まち探検、区内めぐりなどの体験学習に、積極的に取り組んでいる。 ・まち探検や区内めぐりで分かったことについて、自分たちの住む学区域と比べながら違いや共通点を考える事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎地図の見方の中で、地図記号や四方位の理解を定着させる必要がある。 ◎自分の考えを表現する際に、根拠を示してわかりやすく文章に表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号をプリントやデジタル教材を使って視覚的に覚えられるように時間を作る。 ・自分の意見に必ず理由をもって発言できるように指導していく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・植物や昆虫の観察を意欲的に行っている。 ・観察や実験の過程で変化したことや、結果から分かったことを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎経験を重ね、実験・観察の技能の向上を図ること。 ◎実験や観察で分かったことを、根拠を明らかにして考えたり、文章に表したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの実験や体験の活動を取り入れるとともに、一人一人が実験や観察に確実に携われるような方法を工夫する。 ・自分の意見を言うときに、理由も必ず言うことを意識付けるような助言をしていく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌ったり、リコーダーなどの楽器を演奏したりすることに意欲的に取り組む児童が多い。 ・音楽の特徴を捉え、旋律やリズムの反復及びその変化に興味をもって聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌うこと。 ◎互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常時活動で、拍感を養うリズム遊びを取り入れるとともに、ペアや少人数グループで、互いの音を聴きながらリズムや音を合わせて演奏するという経験を積み重

			ねていく。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて意欲的に授業に取り組める児童が多い。 ・作品を見合った時に、お互いの良さに気付き、積極的に伝え合うことができる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎絵の具の着彩など、今までやってきたものに創意工夫を加えていくこと。 ・作品を最後までやり遂げる前に集中が切れてしまう児童もいるので、最後までこだわりをもって完成させる経験を積む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで使ってきた道具や材料の新しい使い方や技法を取り入れた題材を設定し、様々な表現方法に触れさせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・どの領域にも意欲的に取り組んでいる姿が見られる。 ・技の定着や技の精度の向上のために、試行錯誤する姿勢が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎何を意識すれば、うまく身に付けられるのかを考えながら運動をすること。 ・運動技能の習得に差が見られること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組む運動のコツがつかめるような学習資料を提示する。 ・運動する機会をふやして、楽しさを感じられるように取り組ませることで課題を解決できるようにする。